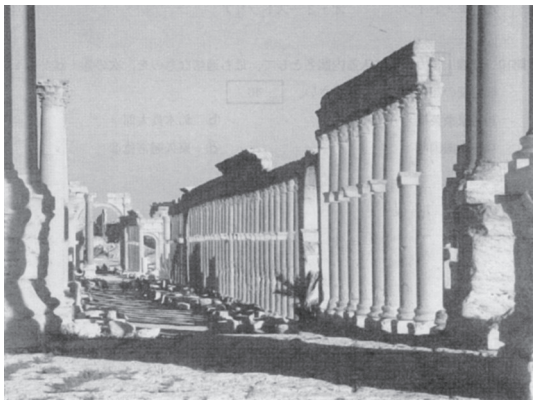
世　界　史

1　次の文章を読んで、**問1**～**10**に答えなさい。



上の写真はシリアの都市遺跡、パルミラの列柱道路である。パルミラはシリア砂漠の北端に位置するオアシス都市で、東のメソポタミアと、西の地中海沿岸とを結ぶ交易路上の隊商都市として栄えた。東西を結ぶ交易路の代名詞でもあるシルクロードは、中国では後漢の時代(1)、地中海ではローマ帝国の時代に、とりわけ活発化した。後漢の西域都護(2)に派遣された使者の甘英はローマ帝国(3)を目指したが、条支国(シリアと思われる)にまで達して引き返した。

ローマのハドリアヌス帝は2度にわたってパルミラを訪れ、パルミラに関税の設定権と徴税権を与えて厚遇した。パルミラから出土した石の浮彫りには帆船が表現されており、砂漠の商人が海上に乗り出していったことがわかる。ローマ帝国の時代にシルクロードの海上ルートが活発化したことは、『エリュトゥラー海案内記』から察することができる。そしてこのルートを通って、後漢支配下のヴェトナム中部に、ローマ皇帝安敦(4)から派遣されたと称する使者がやってきた。実際にヴェトナム南部(5)のオケオ遺跡からは、サンスクリット語を記した錫の破片、漢代の鏡、ローマ帝国の金貨が出土している。一方、パルミラの墓からは多くの中国産の絹織物が発見されており、これらはオアシス・ルートを通って運ばれたものと思われる。

ローマ帝国の東方のライバルは当初はパルティア(6)であったが、このパルティアを倒して勃興したのがササン朝ペルシア(7)である。ササン朝の攻勢にローマ軍は後退を余儀なくされた(8)が、ただパルミラ軍だけはササン朝の勢力を押し返し、一時はローマの弱体化につけいって、北はアナトリアから南はエジプトまでを支配下におさめ、その女王ゼノビアは自らの肖像を貨幣に打ち出して「アウグスタ」(9)(女帝)と名乗った。しかしパルミラの栄華も一時の夢に過ぎず、混乱していたローマをアウレリアヌス帝が収拾して東方に進出してくるやパルミラはローマの軍門に下った。さらにディオクレティアヌス帝(10)がパルミラに駐屯基地を置いた頃から徐々に衰退し、一地方都市へと縮小していった。

問 1　下線部(1)の後漢の時代は、何世紀から何世紀までつづきましたか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 1

ⓐ　1世紀～2世紀　　ⓑ　1世紀～3世紀
ⓒ　2世紀～3世紀　　ⓓ　2世紀～4世紀

問 2　下線部(2)の甘英を派遣した後漢の西域都護は誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 2

ⓐ　班　固　　ⓑ　班　超　　ⓒ　張　騫　　ⓓ　張　儀

問 3　下線部(3)のローマ帝国を、漢では何と称しましたか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 3

ⓐ　大秦国　　ⓑ　大清国　　ⓒ　大公国　　ⓓ　大越国

問 4　下線部(4)の安敦とは、ローマの何という皇帝を指すのでしょうか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 4

ⓐ　アントニウス　　ⓑ　トラヤヌス
ⓒ　アントニヌス＝ピウス　　ⓓ　マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス

問 5　下線部(5)のヴェトナム南部を中心として後漢時代に建国された国を何と言いますか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 5

ⓐ　扶　南　　ⓑ　日　南　　ⓒ　安　南　　ⓓ　越　南

問 6　下線部(6)のパルティアは、中国では安息と呼ばれていました。この名はパルティアの建国者であり王朝名ともなった名称に由来します。その名称とは何ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 6

ⓐ　アケメネス　　ⓑ　アルダ(デ)シール
ⓒ　アルサケス　　ⓓ　アレクサンドロス(アレクサンダー)

問 7　下線部(7)のササン朝ペルシアで国教とされた宗教は何ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 7

ⓐ　ゾロアスター教　　ⓑ　マニ教
ⓒ　ネストリウス派キリスト教　　ⓓ　ユダヤ教

問 8　下線部(8)のササン朝の攻勢でローマのウァレリアヌス帝を捕虜にしたササン朝第二代の王は誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 8

ⓐ　ホスロー1世　　ⓑ　イスマーイール1世
ⓒ　シャープール1世　　ⓓ　アッバース1世

問 9　下線部(9)のアウグスタとは、アウグストゥスの女性形ですが、最初にアウグストゥスという称号をたてまつられたのは誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 9

ⓐ　レピドゥス　　ⓑ　ポンペイウス
ⓒ　カエサル　　ⓓ　オクタウ(ヴ)ィアヌス

問10　下線部(10)のディオクレティアヌス帝が始めた後期ローマ帝国の専制君主政を、ラテン語で何と言いますか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 10

ⓐ　コロナ(ー)トゥス　　ⓑ　プリンキパ(ー)トゥス
ⓒ　ドミナ(ー)トゥス　　ⓓ　ラティフンディア(ラティフンディウム)

2　次の文章を読んで、**問1**～**10**に答えなさい。

中国の歴代王朝と諸外国との関係は、「朝貢」と「冊封」という儀礼を通じて結ばれることが多かった。朝貢とは諸外国が中国王朝に貢物を贈って臣下の礼をとるという儀礼で、日本の遣唐使も朝貢のための使節であった。冊封は、中国皇帝が諸外国の君主に対して辞令(冊書)を与えて称号を授け、統治を承認するという形式で行なわれた。朝貢・冊封を行なうことで両者の間に実質的な支配関係が生じるわけではないが、中国側には皇帝の権威が高まる、諸外国側には中国との貿易の機会が得られる、中国王朝の権威を利用できるなどのメリットがあった。

唐代には、東アジアの日本・新羅(1)・渤海(2)や、東南アジアのカンボジア・チャンパー(3)・シュリーヴィジャヤ(4)など、周辺諸国から多数の朝貢使節が派遣され、その使節があつまる長安(唐の都)は国際色豊かな都市となった。

明代には、東南沿海において民間人の海上交易を禁止した(5)こともあり、朝貢を介しての貿易が活発に行なわれた。14世紀末に成立した朝鮮(李朝)(6)や、15世紀初頭に中山王により統一された琉球、ベトナムの黎朝(7)などが明に朝貢した。

朝鮮・琉球・ベトナムによる朝貢は、清代においても継続された。朝鮮は、明の滅亡(8)の前に清の侵略を受けてこれに服属したが、清への対抗意識は強く、朝鮮こそ正統な中国文化の継承者であるという意識が生まれた。琉球・ベトナムも、清に対して朝貢を続けた。

この状況は、19世紀後半に大きく変化した。清は対外関係において劣勢に立たされる中で、これらの朝貢国との関係を失っていった。最後に残った朝貢国は朝鮮であったが、これも日清戦争(9)に敗北したことで失われたのである。

問 1　下線部(1)の首都はどこですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 11

ⓐ　慶州(金城)　　ⓑ　漢　城　　ⓒ　平　壌　　ⓓ　開　城

問 2　下線部(2)に関する説明として最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 12

ⓐ　高句麗を滅ぼして、朝鮮半島北部に勢力を広げた。
ⓑ　骨品制という氏族的な身分制度が社会の基盤となっていた。
ⓒ　唐の都(長安)をモデルとして首都を建設し、日本との交流も行なわれた。
ⓓ　部族制にもとづく猛安・謀克制により、強固な軍事組織を維持しようとした。

問 3　下線部(3)を建国したのは何という人々でしたか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 13

ⓐ　モン人　　ⓑ　ビルマ人　　ⓒ　チャム人　　ⓓ　クメール人

問 4　下線部(4)に関する説明として最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 14

ⓐ　アンコール＝ワットをはじめ、ヒンドゥー教や仏教の影響を受けた寺院群が築かれた。
ⓑ　唐の仏教僧の義浄が、インドに赴く途中にこの国を訪れた。
ⓒ　仏教が栄え、仏教寺院ボロブドゥールが建設された。
ⓓ　漢字をもとにした字喃(チュノム)とよばれる文字がつくられた。

問 5　下線部(5)に関して、この施策を何といいますか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 15

ⓐ　平準法　　ⓑ　市易法　　ⓒ　海　禁　　ⓓ　均輸法

問 6　下線部(6)において訓民正音(ハングル)を制定したのは誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 16

ⓐ　李成桂　　ⓑ　李舜臣　　ⓒ　世　宗　　ⓓ　高　宗

問 7　下線部(7)に関する説明として最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 17

ⓐ　明の制度をとりいれて儒教(朱子学)を振興した。
ⓑ　元(モンゴル)のベトナム侵攻を撃退した。
ⓒ　三仏斉という連合国家をつくり、対中国貿易で繁栄した。
ⓓ　タイソン(西山)の反乱を鎮圧し、国号を越南に変更した。

問 8　下線部(8)に関して、1644 年に北京を攻撃し、明を滅ぼした人物は誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 18

ⓐ　ヌルハチ(清の太祖)　　ⓑ　ホンタイジ(清の太宗)
ⓒ　李自成　　ⓓ　呉三桂

問 9　下線部(9)の戦争のきっかけとなった甲午農民戦争の指導者は誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 19

ⓐ　王　建　　ⓑ　崔済愚　　ⓒ　洪景来　　ⓓ　全琫準

問10　下線部(9)の後、清と日本は下関条約を結びました。この条約の内容として最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 20

ⓐ　日本による韓国統監府の設置
ⓑ　日本への台湾の割譲
ⓒ　日本を含む外国軍の北京駐留の承認
ⓓ　日本による山東省のドイツ利権の継承

3　次のA、Bの文章を読んで、問 1 ～10 に答えなさい。

A　ドイツ(神聖ローマ帝国)のシュタウフェン朝は、1138 年にシュタウフェン家のコンラート 3 世がドイツ国王に選出されたことによって始まった。次に王位(皇帝位)に就いたのが、1152 年に即位したフリードリヒ 1 世である。彼は、ドイツ王権(皇帝権)の強化を目指し、特に危機に瀕したイタリア支配を再建するために、積極的に(1)イタリア政策を展開した。さらに、国内統治においては、ドイツの封建国家体制を完成させ、王朝の基礎を築いた。その後、東方において、(2)サラディン(サラーフ＝アッディーン)によって(3)聖地イェルサレムが奪われると、フリードリヒ 1 世は第 3 回十字軍に従軍し、その途上小アジアで溺死した。その息子ハインリヒ 6 世は、結婚により(4)南イタリアの国を相続し、シュタウフェン家最大の版図を形成した。次の国王(皇帝)フリードリヒ 2 世は、イタリア支配を優先させたため、ドイツ国内では反乱等が起こり、(5)シュタウフェン朝は 1254 年、コンラート 4 世の死によって崩壊した。

B　スチュアート家から出たスコットランド国王ジェームズ 6 世は、1603 年、ジェームズ 1 世としてイギリス王位に就いた。イギリスのスチュアート朝の始まりである。その息子チャールズ 1 世は父と同様に専制政治を行い、(6)11 年間議会をひらかなかった。1640 年、ピューリタン革命(イギリス革命)が起こると、王党派は敗れて、チャールズ 1 世は処刑された。ここに成立した共和政政府は、1651 年に(7)航海法を発布して植民地貿易の独占をはかるなどしたが、わずか 11 年で崩壊した。1660 年に王政が復活し、チャールズ 1 世の息子チャールズ 2 世が即位するが、議会と対立した。この時代に、(8)後の二大政党の起源となるホイッグ(ウイッグ)党とトーリ党が誕生した。次の国王、ジェームズ 2 世はカトリックであったため、イギリスのカトリック化を恐れた人々はジェームズを王位から追い、1689 年に、(9)ジェームズの娘がその夫とともに、メアリ 2 世とウィリアム 3 世として即位した。2 人は即位に先だち、議会の主権を謳った「権利の宣言」を承認していたので、ここにイギリスの立憲王政が確立した。次の女王アンを最後にスチュアート朝は断絶し、(10)イギリス王位は次の王朝へと受け継がれた。

問 1　下線部(1)は 10 世紀に始まりましたが、10 世紀にイタリアに遠征を行ったドイツ国王(神聖ローマ皇帝)は誰ですか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 21

ⓐ　カール大帝　　ⓑ　ハインリヒ 4 世
ⓒ　オットー 1 世　　ⓓ　ヴィルヘルム 2 世

問 2　下線部(2)が建てたイスラーム王朝を何と呼びますか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 22

ⓐ　ムラービト朝　　ⓑ　アッバース朝　　ⓒ　セルジューク朝　　ⓓ　アイユーブ朝

問 3　下線部(3)に関連して述べた文として最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 23

ⓐ　セルジューク朝は 10 世紀にイェルサレムを占領した。
ⓑ　イェルサレム王国は第 3 回十字軍の時に建てられた。
ⓒ　第 4 回十字軍はイェルサレムにラテン帝国を建てた。
ⓓ　第 1 回十字軍は 1099 年にイェルサレムを占領した。

問 4　下線部(4)は 12 世紀前半に建国されました。この国を何といいますか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 24

ⓐ　ノルマンディー公国　　ⓑ　ノヴゴロド国
ⓒ　イタリア王国　　ⓓ　両シチリア王国

問 5　下線部(5)に関連して、この直後のドイツの出来事について述べた文として最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 25

ⓐ　金印勅書が発布された。　　ⓑ　イタリア戦争が始まった。
ⓒ　大空位時代が始まった。　　ⓓ　ヴォルムス協約が結ばれた。

問 6　下線部(6)に関連して、イギリス議会の起源とされるシモン＝ド＝モンフォールの議会は、何年に招集されましたか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 26

ⓐ　1215 年　　ⓑ　1265 年　　ⓒ　1295 年　　ⓓ　1302 年

問 7　下線部(7)は、どの国に最も大きな打撃を与えましたか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 27

ⓐ　フランス　　ⓑ　スペイン　　ⓒ　ポルトガル　　ⓓ　オランダ

問 8　下線部(8)に関連して、19 世紀イギリスの二大政党は何と呼ばれますか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 28

ⓐ　自由党と共和党　　ⓑ　自由党と保守党
ⓒ　労働党と保守党　　ⓓ　民主党と共和党

問 9　下線部(9)に関連して、この 2 人はどこの国から招かれましたか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 29

ⓐ　フランス　　ⓑ　スペイン　　ⓒ　ポルトガル　　ⓓ　オランダ

問10　下線部(10)に関連して、次のイギリスの王朝は何とよばれますか。以下のⓐ～ⓓの中から最も適切なものを一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 30

ⓐ　テューダー朝　　ⓑ　ヴァロワ朝　　ⓒ　ブルボン朝　　ⓓ　ハノーヴァー朝

4 次の文章を読んで、問1～10に答えなさい。

19世紀前半、ヨーロッパ人のアフリカに関する知識は沿岸部に限られていたが、(1)19世紀の半ばに内陸部への探検が行われ、その様子がヨーロッパに伝わると、列強はこの地域に関心を示すようになった。(2)1884年から85年のベルリン会議で、先に占領した国が領有できるという植民地化の原則が確認されると、列強によるアフリカ分割が激化した。

イギリスは1880年代初め、(3)エジプトを武力で制圧し、事実上の保護下におき、さらにスーダンに侵入した。アフリカ南部では(4)ケープ植民地から周辺に侵攻し、(5)1899年にはブール人と南アフリカ戦争を起こし、かれらの国を併合した。

フランスは、1881年にチュニジアを保護国にし、サハラ砂漠地域をおさえ、アフリカを横断してジブチ・マダガスカルに至る広大な領域を支配しようとした。アフリカ大陸を北西から南東に横断するフランスの植民地化政策は、エジプトからケープ植民地をつなぐイギリスのアフリカ縦断政策と衝突し、(6)1898年にはスーダンで衝突・対立したが、フランスが譲歩して事なきを得た。その後両国は接近して、(7)1904年に英仏協商を成立させ、台頭著しいドイツに対抗した。

ドイツはこの時、「世界政策」という強引な帝国主義政策を追求していた。アフリカ大陸では、(8)1905年と11年の2度にわたり、フランスと激しい領土争いを展開したが、イギリスがフランスを支援したために、ドイツの試みは失敗に終わった。

こうして20世紀初頭には、(9)アフリカ大陸のほとんどが列強の支配下におかれた。列強諸国はこの頃までに、太平洋諸地域でも熾烈な植民地分割競争を展開し、(10)これにはアメリカ合衆国も加わった。

問1 下線部(1)の時、ナイル水源探査で消息を絶ったリヴィングストンの救出に成功し、中央アフリカをはじめて横断した探検家は誰ですか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 31

ⓐ スタンリー　ⓑ スコット　ⓒ アムンゼン　ⓓ クック

問2 下線部(2)の会議で、レオポルド2世の私領として建設された植民地は何ですか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 32

ⓐ シエラレオネ　ⓑ コンゴ自由国　ⓒ カメルーン　ⓓ ソマリランド

問3 下線部(3)の時、イギリス軍が鎮圧したエジプトの民族運動は何ですか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 33

ⓐ バーブ教徒の乱　ⓑ プガチョフの反乱
ⓒ マフディーの反乱　ⓓ ウラービーの反乱

問4 下線部(4)の首相として、イギリスの帝国主義政策を推進した人物は誰ですか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 34

ⓐ ディズレーリ　ⓑ ジョン＝ヘイ
ⓒ セシル＝ローズ　ⓓ ジョゼフ＝チェンバレン

問5 下線部(5)の時、トランスヴァール共和国と共に併合されたブール人の国は何ですか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 35

ⓐ ワッハーブ王国　ⓑ クシュ王国
ⓒ ザンジバル王国　ⓓ オレンジ自由国

問6 下線部(6)の時、イギリスとフランスの軍隊が衝突した出来事を何と言いますか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 36

ⓐ ドレフュス事件　ⓑ サンバルテルミの虐殺
ⓒ ファショダ事件　ⓓ マルヌの戦い

問7 下線部(7)の後、イギリスは1907年に別の協商を成立させ、ドイツを中心とする三国同盟の脅威に対抗します。この時、イギリスとフランスとともに三国協商を構成したのはどの国ですか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 37

ⓐ オランダ　ⓑ イタリア　ⓒ オーストリア　ⓓ ロシア

問8 下線部(8)は、どこをめぐる争いでしたか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 38

ⓐ モロッコ　ⓑ エチオピア　ⓒ ギニア　ⓓ ナタール

問9 下線部(9)について、列強の植民地支配を免れた国が二つありました。一つはエチオピア帝国ですが、もう一つの国はどこですか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 39

ⓐ リビア　ⓑ リベリア共和国
ⓒ ソンガイ王国　ⓓ アルジェリア

問10 下線部(10)について、アメリカ合衆国が1898年にスペインから獲得したのはどこですか。最も適切なものを以下のⓐ～ⓓの中から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 40

ⓐ ボルネオ　ⓑ ソロモン諸島
ⓒ フィリピン　ⓓ ニューギニア東部